

2008 年 2 月 27 日

関係者 各位

財団法人
日本モーターサイクルスポーツ協会
ロードレース委員会
技術委員会

2008 年度 国内競技規則書 訂正と追加について

本年度、ロードレースの競技会において適用される国内競技規則書発行後、規則の「訂正・追加・規則施行時期」を以下のとおり改訂とします。

詳しくは、国内競技規則書と合わせて内容をご確認ください。

<競技運用規則関連>

1) ロードレースライセンスの昇格（特別審査）の追加クラス

訂正箇所： 付則 1 MFJ ライセンス昇格・降格に関する規則

[5 ロードレースライセンスの昇格] 5-1 項 特別審査 (p 49)

訂正内容：(規則追加) 申請可能クラス (MFJ 競技会に登録されているもの) 図表に追加

富士スピードウェイ	GP125・GP-MONO
HSR 九州	GP125・GP-MONO

2) ホワイトクロス旗について

訂正箇所： 付則 4 [公式シグナル] (p 77)

訂正内容：(語句追加) **+SC ボード** を追加

4-1-3-7 ホワイトクロス (白い斜め十字の入った赤旗) **+SC ボード**

セーフティーカーの介入によるレースの非競技化
(注意・減速・追い越し禁止)



3) 全日本選手権 ウォームアップランについて

訂正箇所： 付則 5 [開催内容と競技会の基本スケジュール] (p 99)

訂正内容：(語句追加) **最低** を追加

3-3-1 全日本選手権は下記基本スケジュールに基づき開催される。＜以下一部省略＞
日曜日：午前 ウォーミングアップラン 各クラス**最低**10 分

4) 最終戦 MFJGP の参加枠の変更について

訂正箇所： 付則 5 [4 参加定員] (p 100)

訂正内容：(語句追加) **で、且つ国際ライセンス所持者。** を追加
：(アンダーライン部分) 解説を追記

4-3 最終戦の MFJ グランプリは、出場者に下記の選抜条件が設定される。

☆ **ST600, GP125, GP250 クラス**

エントリー数の上限は予選 1 組の最多予選出走台数とし、以下の優先順序で決定する。

- ①全日本選手権の当該クラスにおいて第 5 戦鈴鹿大会までのポイント取得者
- ②東日本・ウエスト・サウス各チャレンジカップ選手権当該クラス上位 3 名
(繰上げは行わない) **で、且つ国際ライセンス所持者。** 時期は、9 月 22 日時点のランキングをもとにする

- ③ 主催者およびロードレース委員会推薦

☆ **GP-MONO クラス**

エントリー数の上限は予選 1 組の最多予選出走台数とし、以下の優先順序で決定する。

- ①当該クラスにおいて第 5 戦鈴鹿大会までの当該クラスのポイント取得者
- ②岡山国際サーキット当該施設で開催される地方選手権当該クラス上位 3 名 (繰上げは行わない) 時期は、9 月 22 日時点のランキングをもとにする
- ③ 主催者およびロードレース委員会推薦

☆ **GP-MONO クラス②項の解説**

- ・岡山国際の GP-MONO クラスは、GP-MONO インターランキング (国際・国内ライセンス所持者) 上位 3 名が最終戦の選抜に適用される。

5) **ノックアウト・スーパーボール予選方式の追加タイヤ**

訂正箇所: 付則 5 [22 タイヤ規制] (p 106)

訂正内容: **(語句追加)** **この** を追加

22-2-3 ノックアウト・スーパーボール予選方式の追加タイヤ

スーパーボール・ノックアウト方式予選の最終セッションの進出者を 12 名とし、この最終セッション進出者については、追加のタイヤ 1 セットが認められる。

但し、**この** 追加されたタイヤは、その最終セッションに限り使用が認められる。

<競技運用規則関連>

6) **JSB1000・ST600・GP フォーミュラ 2 次カバーに関する事項**

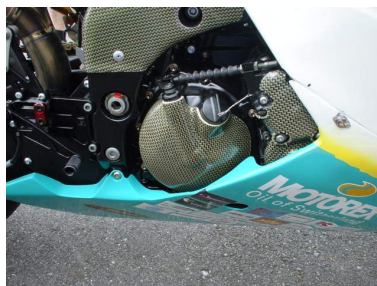
訂正箇所: GP フォーミュラ 9-1-3-2 (p121)・JSB 7-27-7 (p140)・ST600 7-3-13 (p153)

訂正内容: **(語句追加)** **オイルを保持する** を追加

規則の施行時期変更 公示:

- ・ **この 2 次カバーに関する規則は、準備期間を設け 4 月 1 日から規則施行される。**

転倒時に地面と接触する恐れのある **オイルを保持する** 全てのエンジンケースは複合素材 (カーボンまたはケブラー製) の 2 次カバーによって保護されなければならない。



7) JSB1000 カムプロケット

訂正箇所：JSB1000 7-24-8 カムシャフト及びカムプロケット (p138)

訂正内容：(語句削除) 二重線部分

7-24-8-2 カムプロケット

カムプロケットまたはカムギヤは、カムシャフトの角度調節のために公認時のものから変更または交換することができる。

~~サイズおよび材質は公認時のものを維持しなければならない。~~

8) JSB1000 ハンドル・レバー類

訂正箇所：JSB1000 7-24-9-8 として全面規則追加

訂正内容：(新規規則追加) 7-24-9-8項として追加

ブレーキ/クラッチレバーの先端はボール状でなくてはならない（最低直径 19 mm）。このボールを平たくすることができるが、端部は丸みをもたせていなければならない（最低の厚み 14 mm）。

9) ST600 ホイールの互換性

訂正箇所：ST600 7-3-7-3 の図および※部分の訂正 (p152)

訂正内容：誤記載訂正 ①図の訂正 (YZF-R6)・②記載訂正

① ホイールの互換性図の訂正箇所

・ヤマハ YZF-R6 2008 モデルと 2007～2003 モデル間でホイールの互換性あり（同色に訂正）

	2008	2007	2006	2005	2004	2003	02/01
本田技研工業	→	CBR600RR (PC40)	→	CBR600RR (PC37)	→	CBR600RR (PC37)	CBR600F4i CBR600Fs CBR600F (PC35)
ヤマハ発動機	YZF-R6 (08MODEL) 13S	→	YZF-R6 (06MODEL) 2c0	YZF-R6 (05MODEL) 5SL	→	YZF-R6 (03MODEL) 5SL	YZF-R6 (01MODEL) 5MT
スズキ	GSX R600 (K-8)	→	GSX R600 (K-6)	→	GSX R600 (K4)	→	GSX R600 (K1)
川崎重工	→	ZX-6R ZX600P	→	ZX-6RR (ZX600N)	ZX-6RR (ZX600M)	ZX-6RR (ZX600K)	ZX6R (ZX600J)

② ※注釈部分の訂正

訂正前

※03-05YZF-R6 (5SL) と 06YZF-R6 (2C0) と、型式は違うが同一部品のため使用することが可能



訂正後

※08YZF-R6 (13S) は、03-05YZF-R6 (5SL)・06YZF-R6 (2C0) と、型式は違うが同一部品のため使用することが可能

10) ST600 部品買取価格

訂正箇所： ST600 7-5-6-3 (p157)

訂正内容： **語句削除 二重線部分 とアンダーライン部分追加**

7-5-6-3 ~~購入希望者が複数の場合、主催者により抽選が行われ決定される。~~

申請べ切後、抽選の会場・時間が購入希望者に連絡される。購入者は主催者により抽選にて購入優先順位が決定される。

購入優先順位 1 位以外の者の購入申請保証金は抽選後返却される。

ただし、車両購入希望者と部品購入希望者の複数の場合は、車両購入者が優先される。

S T 600 クラスのみ、車両と部品の 2 種類の買取規定があるため、車両と部品の購入希望者が発生した場合の優先順を明記し改定する。

11) GP-MONO 技術仕様 シリンダーヘッド訂正

訂正箇所： GP-MONO 2-7-6 シリンダーヘッド (p159)

訂正内容： **語句訂正 「。」を追加**

1) シリンダーヘッド

2-7-6 シリンダーヘッド

シリンダーヘッドポートのバリ取りとカーボンの除去。バリとは鋳型の合わせ面に生じる「型合わせバリ」を指す。

訂正内容は、上記「シリンダー～カーボン除去」と「バリとは～を指す。」の間に「。」を追加

12) GP-MONO 技術仕様 ブリーザーシステム

訂正箇所：

GP-MONO 5-14 燃料タンク及びオイルキャッチタンク 5-14-7 ブリーザーシステム(p166)

規則の施行時期変更 公示：

**ブリーザーシステム規則の適用は、2008 年度については全日本選手権のみ適用とし、
地方選手権における GP-MONO クラスは、1 年間の猶予期間を設け 2009 年より適用に改定**

5-14-7-1 全ての車両はクローズドブリーザー・システムを採用していなければならない。すなわちオイル・ブリーザー・ラインはオイル・キャッチタンク、およびエアクリナー・ボックスに連結され、これに排出する構造となっていること。

5-14-7-2 キャッチタンクの容量はオイルキャッチタンクが最低 500 cc、オイル・キャッチタンクとエアクリナー・ボックスの合計で最低 800 cc とする。

5-14-7-3 フレッシュエアー取り込みのためのエアダクトの追加は認められるが、RAM 圧は禁止される。エアダクトの取り付けがなく、エアークリナーボックスに直接孔を空ける場合は、その合計が直径 45mm 相当の面積以下とする。

13) ST600 タイヤの新規公認タイヤについて

国内競技規則書発行後、新規申請された公認 S T 600 タイヤは以下のとおり、

◎ **新規 ST600 公認タイヤ**

銘 柄	パターン名	F/R	用途	数	スペック名	公認発効日
ダンロップ	SPORTMAX GP	R	ドライ	1	R3N	'08.2.22
ブリヂストン	BT-003F	F	ドライ	3	TYPE4	'08.3.1
					TYPE3	'08.4.1
					TYPE2	'08.7.1

ブリヂストン	BT-003R	F	ドライ	3	TYPE4	'08.3.1
					TYPE2	'08.4.1
					TYPE1	'08.4.1

◎ **ST600 公認タイヤ切れ一覧 使用期限設定されるタイヤ**

銘 柄	パターン名	F/R	用途	数	スペック名	使用期限日
ダンロップ	SPORTMAX GP	R	ドライ	3	R1・R2・R3	'08.8.22
ブリヂストン	BT-002F PRO	F	ドライ	3	TYPE-2・3	'08.9.01
	BT-002R PRO	R	ドライ	3	TYPE-1・2・3	'08.9.01

以上、国内競技規則変更は、2008 年 2 月 27 日より施行される。

この規則変更は、MFJ のホームページおよび MFJ ライディングにて告知される。